

1. 立場・役割

本事業は~~〇〇~~県~~〇〇~~村において、~~〇〇~~リゾート地開発（約 3.3ha）を行うものである。

私は統括責任者の立場で、事業者・行政機関・地域住民との協議を行い施工計画及び詳細設計の役割を担った。

掘削長 8.5m が新設構造物のどこを示しているのかが分かりません。建築物の幅と思いますが、掘削面の長さとも読めます。3. で示されている「掘削部に山留工（親杭・横矢板）を設置し、グラウンドアンカー（3段）を併用して斜面…」もなんとなくは分かりますが、この論文では「掘削形状」を明確にする（採点者の頭に浮かび上がるような工夫）必要があります。

(約 2380 m²)

画されてお

「盛土規制法に該当し災害リスクが高まる」とありますが、「掘削長 8.5m、基礎床より 1:1.2 勾配にてオープンカット」が規制法の何に該当するかを記載してください。「盛土規制法」は盛土自体ができるかの規制では？「盛土規制法」は法律名なので正しい法律名を記載し間違いは NG です。

掘削長 8.5m、基礎床より 1:1.2 勾配にてオープンカットをした場合、盛土規制法に該当し災害リスクが高まることや樹木伐採を伴うことなどが問題であった。

を確保

課題は、土砂災害防止策の観点で斜面の安定性の担保を最優先にした施工計画の策定であった。

3. 技術的提案

「当初計画は…」？

掘削部に山留工（親杭・横矢板）を設

「…森林保全に努めた。」のであれば、課題である「斜面の安定性の確保」とは関係ないのでは？

→どうしても書きたければ4.技術的成果、

OR 5. 今後の展望に移動させること。

「越境」とは？どこ（用地買収？）線？

斜面の安定を図ること

とした。当初、アンカー削孔角度 30 度、長さの越境が想定されたため削孔角度 40 度

@1.8m にして敷地内に収まるよう工夫した。また、斜面は森林法第 5 条民有林指定地でありワイヤネット

及びロックボルト工法を計画し森林保全に努めた。これについて、ステークホルダーである事業者・行政機関・地域住民との協議会を開催し、必要性・機能性・経済性・安全性など総合的なマネジメントを行い決定し

「上記の計画」を具体的に記載すること。

アンカー削孔角度 30 度@2.4m→削孔角度 40 度@1.8m」の変更で 1000 万円、3ヶ月減？
アンカー間隔が短くなっているの、普通で考えれば増となるのでは？>

「軽減」を定量的に評価すること。

上記の計画により、コスト減（約 1000 万円）、工程短縮（約 3 カ月）、残置森林率（90%）が軽減

「本対策」を具体的に記載すること。

強化に繋がった。

評価と今後の展望

本対策により、がけ崩れや土砂災害の防止と森林保全に努めることができる。

今後とも、地球環境保全を図り、持続可能な社会を確保し、引続き社会に貢献する所存である。以上